

●第75回 全日本バレーボール高等学校選手権大会 秋田県予選会 試合結果

【 男子決勝 戦評 】

雄物川	2	25-13	0	秋田工業
		25-15		

昨年の代表決定戦と同じ対戦カードとなった27連覇中の雄物川と古豪秋田工業の代表決定戦。

第1セット、雄物川はキャプテンでセッターの1番滝澤を中心に攻撃陣が次々と得点を重ね、序盤から9-3とリードする。中盤、秋田工業は、キャプテン1番松田、12番長崎を中心に粘りのバレーを見せるが、全校応援の後押しを受けた雄物川が第1セットをとった。

第2セット、一進一退で点数を重ねるが、雄物川は10番古屋のスパイクをきっかけに3連続得点で9-3で抜け出すと、7番最上がこの試合スパイク10本決めるなど、高さのあるバレーで圧倒し、雄物川が28連覇を達成した。

【 女子決勝 戦評 】

秋田令和	2	25-22	0	聖 霊
		25-22		

混戦と言われた女子ベスト4の戦いを制した、第1シード聖霊と、秋田北を破って決勝に進出した第3シード秋田令和の戦い。

第1セット、令和はエース4番荒谷、1番遠田を中心に試合を進める。聖霊も12番リベロ齊藤の好守、猪本のツーアタック、リリーフサーバー11番中嶋のサービスエースで、一進一退の攻防を繰り広げる。22-22までシーソーゲームを展開したが、令和荒谷のスパイクで3連続得点を挙げた令和が先取した。

第2セットは、令和の連続ブロックが決まり、0-3とリードする。後がない聖霊は、令和の勢いを止めることができず9-14と大きく差をつけられたところから、センターからの攻撃で点数を重ね、相手の攻撃を粘りのプレーで繋ぎ、1番佐々木の巧打で22-22の同点に追いつく。しかし令和はここぞの集中力を発揮し3連続得点で、優勝を勝ち取った。この試合で荒谷16本、遠田10本とスパイクを決め、チームの強さを見せつけた。